

シニアのスマホライフ 快適活用の手引き ネットショッピング事始め

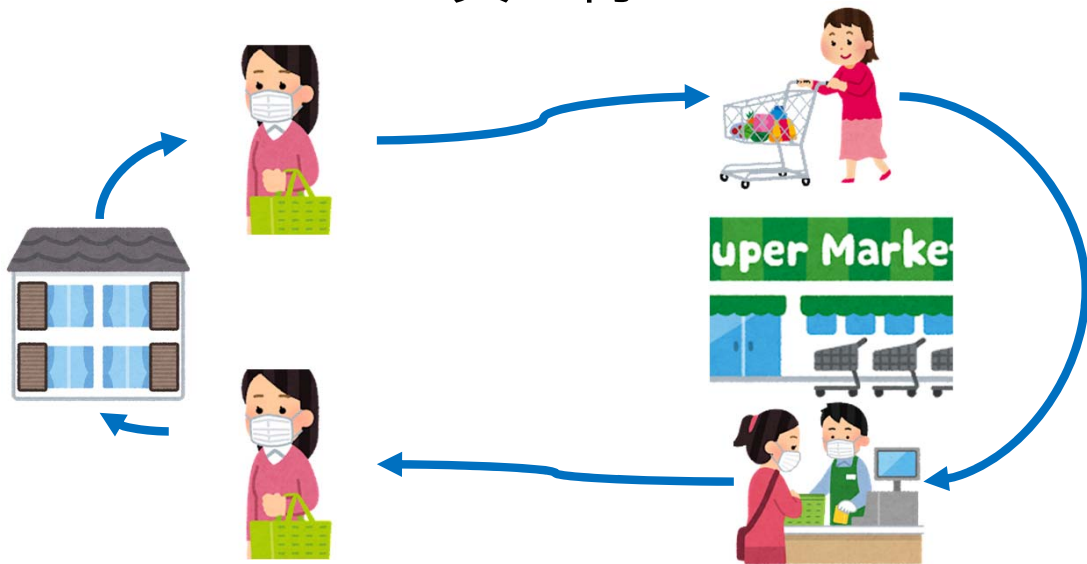
佐藤良治

<https://yo-sato.com/>



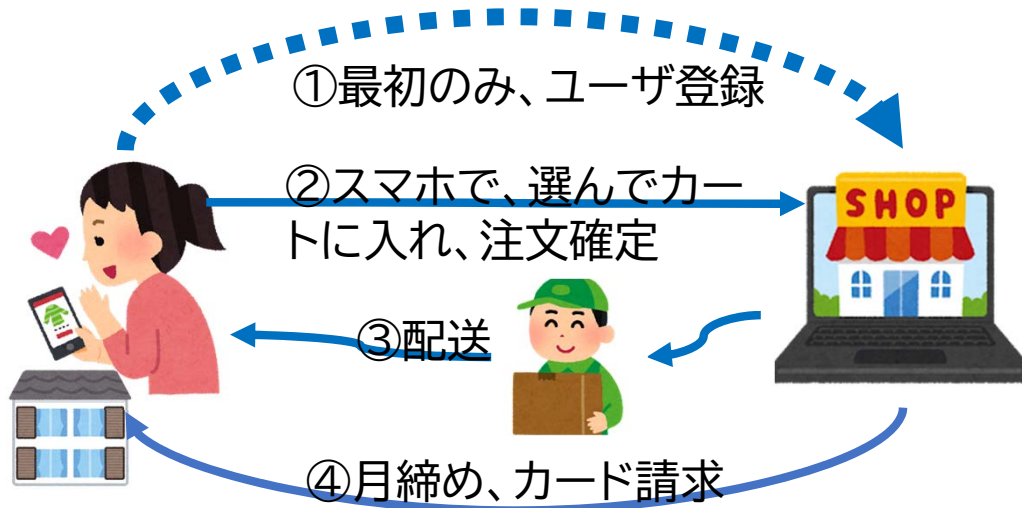
シニアがスマホで、オンラインショッピングを始めるにあたって、役に立つであろうことを解説します。

買い物



買い物といえば、まず自宅からスーパーなどへ出かけます。店では、カートに商品をピックアップして、レジで精算します。そして買ったものを持ち帰ります。

ネットショッピング



ネットショッピングでは、あらかじめユーザ登録しておけば、出かける、現金を払い清算する、持ち帰る、という手間がいらなくなります。スマホでほしい商品を購入します。商品の配送は宅配便業者にやってもらえます。清算は、カード決済などで行われます。

ネットショッピングの利点

制約なしに買い物ができる

- 近くに商業施設がなくても、買い物ができる。
- 運転免許の返納をしても、買い物ができる。

金流・物流を気にしなくていい

- 重い荷物を運ばなくていい。
- 現金を準備しなくていい。

ネット上の情報

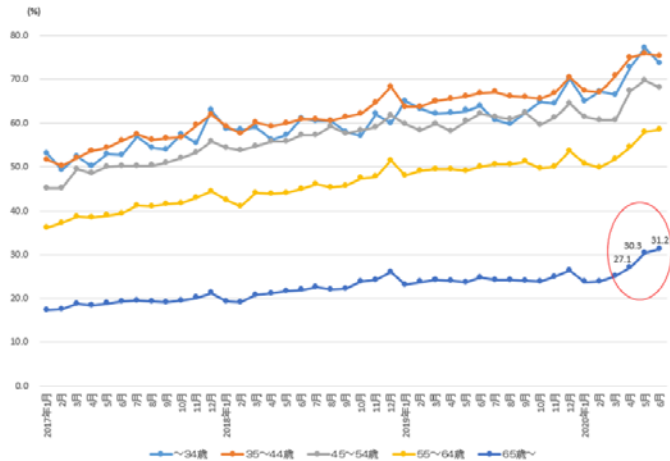
- 評判・口コミや、値段比較など、商品を選ぶための参考情報が得られる。



ネットショッピングのいいところは、近所に店がなくても買い物ができ、車の運転をしなくても買い物ができる、ことです。また、物流、金流を気にしなくていいことです。そして、ネットに慣れた場合は、評判や口コミや値段比較などの情報を得ることができるメリットを享受することができます。

2020年には
65歳以上の世
帯におけるネッ
トショッピングの
利用率が3割を
超える

図2 ネットショッピング利用世帯の割合の推移（世帯主の年齢階級別）
（二人以上の世帯、2017年1月～2020年6月）



<https://www.stat.go.jp/info/today/162.html>



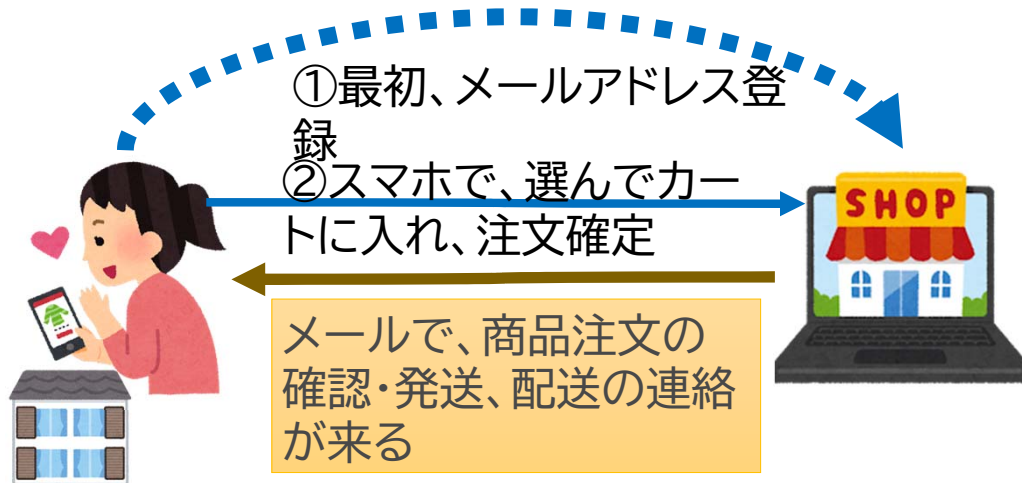
総務省の統計データによると、今や、65歳以上の世帯の3割以上がネットショッピングを利用しているそうです。高齢者に広がっています。

利用の準備



高齢者がネットショッピングを始めるための準備事項について説明します。

メールの準備



まずメールを準備します。なぜかということ、商品を購入すると、商品注文の確認・発送や配送の連絡のため、メールが使われるからです。そのため、登録時にメールアドレスを聞かれます。普段メールを使わない場合、GMailを使うといいです。「上手に受け取る」という別の動画で解説しています。

ユーザ登録



①最初に登録

- 氏名
- 住所
- 電話番号
- メールアドレス
- パスワード
- クレジットカード
- など



アカウント情報として店舗サーバーで管理され、買い物するときにいちいち再入力しなくていいようになる。



メールアドレスを準備したら、ユーザ登録します。最初にユーザとしてのIDとパスワードを決めます。IDは、メールアドレスをそのまま使ったりします。このIDとパスワードは控えておきましょう。次に、商品を宅配するため、住所氏名・電話を登録します。また、料金を払うために、通常、クレジットカードを登録します。そういった情報を登録しておくことで、買い物するときにはネットショップにログインするだけで自動的に住所氏名やクレカの紐づけが行われることになります。

スマホ専用アプリが便利

WEBサイト

- ブラウザを起動し、店舗名を入力するか、お気に入りから、サイトへ行く。
- サイトでログイン。

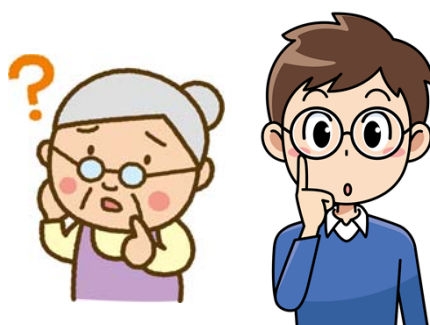
店舗専用アプリ

- ホーム画面に見えるので、それをタップ。



ユーザ登録および実際の買い物時、ブラウザで直接、ネットの店舗サイトへ行ってやるか、スマホに店舗専用アプリをいれてやるか、いずれかとなります。ネットの店舗サイトを直接利用するには、ブラウザを起動しWEBアドレスを入力しないといけませんが、アプリですとタップ一つで開けるので、アプリをお勧めします。

流れをつかむまでは手伝ってもらおう



以上の準備作業をまとめます。

まずメールアドレスを確認します。

アプリをスマホに入れます。

そして、ユーザ登録します。

これが済んだら、実際の買い物ができます。実際の買い物は、たいていは、商品を検索して、料金を調べて、カートに入れて、購入手続きをとって、という流れになります。店舗サイト、スマホアプリと

も、画面はごちゃごちゃ込み入っていると思いますので、どこをタップすれば次へ進めるか、戸惑うことが多々あると思います。最初のうちは、流れがつかめるまで、近親者やサポートスタッフに手伝ってもらって、慣れてください。

ネットショッピング



店舗サイトないしスマホアプリで買い物ができたら、これ以降、買い物すれば物が宅配業者によって届けられます。そして、通常、月締めのカード払いで清算されます。

気を付けること



以下では、ネットショッピングをする際に気を付けてほしいこと、何点か説明します。

楽天市場、アマゾンなど、大手を使う

信用できる店舗を使い、詐欺の店舗に引っかからない。

若い人も使っているので、わからないことを聞きやすい。

トラブル対応が楽。大手は、トラブルが社会的ダメージがなるので、トラブル対処をしてもらいやすい。類似のトラブルのケースを検索しやすい。



利用店舗は、楽天やアマゾンなど大手か、自分がよく知っているところにしてください。いろいろ手を出すと、詐欺サイトにひっかりやすくなります。

口コミが無数にあって評価の高い商品を選らぶ

口コミや評価数が、数百、数千とあれば、それだけ利用されている商品であるということであり、評価スコアもごまかせない。

口コミが少ない場合、評価スコアも含め、サクラによる不正評判である可能性がある。



商品に関する口コミや評価を見ると参考になります。そこで注意することは、サクラによる評価です。評価は数が多いのだけ信用してください。少数のものはサクラによる虚偽データの可能性があります。

値段は吟味する

送料込みで値段を見る。

安すぎるのは、粗悪品であるリスクがあるので、要注意。

価格ドットコムで価格の妥当性をチェック。



値段は送料込みで判断してください。粗悪な商品を掲載する店舗もあるので、安物買いの銭失いにならないように気を付けてください。価格ドットコムというサイトで、価格を比較できるので、利用するといいです。

定額サービス

定額サービス(例:Aプライム)への誘導に引っかからないように、注意する。

最初は無料でも、放置すると、すぐに、毎月お金を取られるようになるので、年間の出費は大きくなる。

この類のものは、たいてい、契約しやすく、解除しにくい。



一度やると、金額的に影響が大きいのが、定額サービスです。いわゆるサブスクと呼ばれるサービスです。月ごとにお金を取られるため、1年たつと思わぬ出費になったりします。最初は無料というのは当てにすることはできません。重々、注意してください。一度契約すると退会が面倒だったりします。若い人に相談してやってください。

まとめ： ネットショッピング事始め

利用に必要な準備は、若い人に手伝ってもらって。

大手の店舗を利用し、口コミ・評価を活用。

定期購読サービスのご利用は注意して。



以上をまとめます。

ネットショッピングは、近くに店がなくても、車を運転できなくなっても、買い物を楽しめる便利なものです。

ですが、始めるには、若い人にサポートしてもらってやってください。

大手を利用し、口コミ評価を気にして下さい。定額サービスは要注意です。